



薬剤部季刊誌

28号

2013年6月発行

# くすり箱

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部

発行責任者 小林 真弓

編集担当者 根岸由美

矢古宇 由佳

小島 強

第28回目のテーマは“ジェネリック医薬品”についてです。

## ジェネリック医薬品って何だろう？

数年前からテレビなどでも「ジェネリック医薬品」という言葉を耳にするようになりました。

「ジェネリック医薬品」って何でしょうか？

『ジェネリック医薬品とは、新薬(先発医薬品)の特許期間などが過ぎた後に、

他のメーカーから製造・販売される同じ有効成分・同じ効き目の医薬品(後発医薬品)です。』

「ジェネリック医薬品」の「ジェネリック:generic」とは、英語で「一般的な」という意味をもつ言葉です。ジェネリック医薬品の普及率の高い欧米では、お医者さんがくすりを処方する際に商品名ではなく、有効成分の一般名(generic name)を記載するケースが多く、後発医薬品を「generics:ジェネリック医薬品」と呼んでいます。

## ●お薬はこのように分類されています



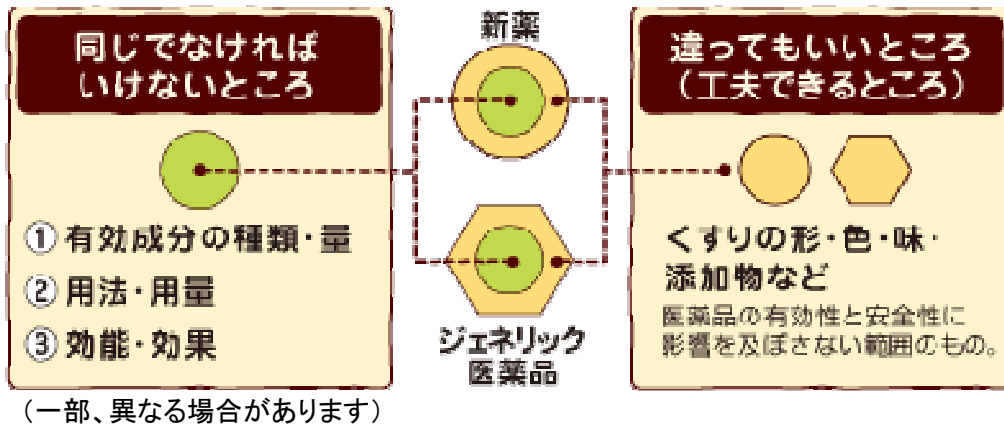
●お薬の形には、錠剤や顆粒剤、カプセル剤やシロップ剤などの内服薬と、貼付剤などの外用薬があります

●新薬とジェネリック医薬品は、全く同じものではありません

## 📌 ジェネリック医薬品と新薬は、どこが同じでどこが違うの？

新薬と見た目や味は違っても、有効成分や効き目は同じジェネリック医薬品。

では、どこが同じで、どこが違うのでしょうか？



## 📌 ジェネリック医薬品の特徴って？

### ● 低価格

すでにある新薬の医療現場での使用実績や情報を元に開発されるので、研究開発費は新薬に比べて少なく、低価格になり、多くの場合自己負担額を減らすことができます。

国民医療費を節減するために、国もジェネリック医薬品の使用をすすめています。

### ● のみややすさ、扱いやすさなどの工夫

ジェネリック医薬品には、形や味、大きさ、添加物の改良などさまざまな工夫が施されているもの(バリアフリー製剤)もあります。例えばこんな工夫が・・・

改善点	バリアフリーが活かされたジェネリック医薬品
錠剤や粉薬で飲みこみにくい、入れ歯に挟まってしまう・・・	→ 水を含むと「ふわっ」と溶ける錠剤
味が苦い・・・	→ 苦味をマスキング
カプセル剤でのどを通りにくい・・・	→ 錠剤
小さすぎてつまみにくい(扱いにくい)、または大きすぎてのどを通りにくい・・・	→ つまみやすく(扱いやすく)飲みやすい、適度な大きさのお薬
剥離紙(フィルム)がうまく剥がれない・・・	→ 剥離紙(フィルム)が剥がしやすく、また貼りにくい部分もひとりで
自分では貼りにくい・・・	→ 貼りやすい貼布剤

気になることや不明な点はお気軽に薬剤師にお問い合わせください。

次回は、「ジェネリック医薬品」の続きを2013年9月発行予定です。